

部活動を除く体育活動における負傷件数

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
小学校	175	165	211
中学校	123	117	184

組体操による事故発生状況

	小学校		中学校	
平成 26 年度	骨折	5	捻挫・打撲	1
	捻挫・打撲	18		
	脱臼	1		
平成 27 年度	骨折	5	骨折	1
	捻挫・打撲	6		
	打撲	1		
平成 28 年度	骨折	3	骨折	1
	捻挫・打撲	7		
	打撲	1		

(日本スポーツ振興センターの給付実績から出した数)
(事故件数は練習中の事故も含む)

浦安市内の小・中学校では今年度の運動会はすでに終了しています。運動会で組体操を行った小学校は17校のうち16校、中学校は9校のうち2校です。実施の判断は学校にゆだねられ、小学校では校長会の検討などで高さは目安として3段までとすること、中学校はピラミッド5段、タワー3〜4段で実施されたことなどが明らかにされました。

日本体育大学の荒木達雄教授は「高さを求めるのではなく、基本的な技を丁寧に指導することが大事、その実践は組体操の原点である。人と人が組み合うことのできる面白さを感じることもできるもの」「低い段数であっても事故はよく起きるため、安全指導が欠かせない」と主張しています。

安全指導は 欠かせない

全国的に規制 「段数制限」と「全面廃止」

全国の事例では、千葉県流山市、柏市、野田市は、組体操そのものの「全面廃止」まで踏み込み、大阪府八尾市や愛知県は「ピラミッド5段まで、タワー3段まで」と「段数制限」をしています。

日本共産党は「行政側から

の規制によって、教育現場が委縮するようなことはあってはならない。ただ禁止すればよいということではなく、事故はなぜ起こっているのか、問題点をきちんと議論し、専門家の意見なども聞いて対策を講じるべき」と主張し、教育委員会がどのような対応をしたのか質しました。

教育総務部長は、国からの

通知前に組体操の実施の判断や留意事項について、学校に通知し、4月には指導教諭に対して安全性を高めるために日本体育大学准教授による実技研修を実施したことを明らかにしました。

組体操

全国の小・中・高の組体操による事故多発を受けて文科省が、今年3月、安全性を確認できない場合、実施を見合わせるよう運動会の1種目を規制する異例の通知を出しました。

文科省通知を受けて、この問題に浦安市教育委員会がどのような対応をしたのか、本市の組体操による事故の実態について、日本共産党は9月議会で質しました。



専門家の意見も聞いて対策を

週刊

市議会報告

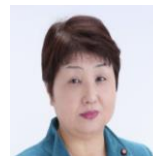
日本共産党

2016年10月17日

第1389号

【発行】

日本共産党
浦安市議会
☎ & F A X
350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-3-14
☎ 355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎ 354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp



介護者への支援強化を



浦安市の高齢者虐待の現状

《虐待の種類》	
身体的虐待	9 件
心理的虐待	3 件
介護放棄	17 件
経済的虐待 (重複あり)	7 件
合計	36 件
《虐待者》	
夫：4 件、妻：2 件、 息子：15 件、娘：9 件	
男性からの虐待が多くなっています。	

いっぽう、高齢者の家庭内における虐待件数は、地域包括支援センターへの通報や相談を受け付けた数で集計され、平成27年度の実件数は29件、虐待の種類や虐待者は次の通りです。

在宅の要介護者の人数

	要介護者数	在宅の要介護者数
要支援 1	445	441
2	294	290
要介護 1	705	616
2	515	425
3	451	283
4	389	190
5	291	152
合計	3,092	2,397

本市の場合、平成28年7月現在、要介護者の数は全体で3092人、居宅で療養している要介護者は2397名、そのうち26%にあたる介護度3以上は625名にもなっています。

在宅介護と虐待の現状は？

国は、高齢者が爆発的に増加する2025年を見据えて、患者・要介護者を在宅医療・在宅介護・在宅看取りに転換する「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。介護は、施設介護をできるだけ減らし、在宅介護へ転換する国の政策が進められようとしています。日本共産党は9月議会一般質問で、在宅介護にあたる介護者への支援を強化するよう求めました。

虐待は介護者の介護疲れが原因！

虐待は厚生労働省の発表では、施設での虐待の70倍もの虐待が、家庭で行われ、家族や同居人によって虐待がおこなわれています。虐待は、介護が特に長期化している場合、深刻になり、介護者のやり場のない思いやストレス、介護疲れが原因です。

殺人や心中が起きてもおかしくない！

ケアマネージャーの業務支援のサイトが全国の730人のケアマネージャーにアンケート調査を行い、結果を公表しています。

その回答では、「介護者が追い詰められていると感じたことはあるか」という問いに93%が「ある」と回答、「殺人や心中が起きてもおかしくないと感じたことはあるか」に55%が「ある」と回答し、「経済的に困窮」が54%と回答しています。

日本共産党はこれらの調査結果を示し、在宅で介護にあたっている介護者への支援の強化を求めました。健康福祉部長はこれらの回答結果から、「家族の負担が大きいと感じている」ことを認めたものの、「相談体制の強化」約束に止まり、もっと踏み込んだ介護者への具体的な支援策については、7期介護保険事業計画策定にむけて、「基礎調査を実施しますので、その結果などもふまえて検討したい」と答えました。